

横浜市立大豆戸小学校 令和元年度 豊かな心の育成推進プラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標

○学校教育目標の実現に向けて、家庭、地域さらに社会との連携を深め、「歌声いっぱい、花いっぱい、笑顔あふれる大豆戸小」を目指します。

・「歌声いっぱいプロジェクト」を通して豊かな学びを、「花いっぱいプロジェクト」を通して学びの環境づくりを保障し、「笑顔いっぱいプロジェクト」を通して子どもたちの自己実現を図っていきます。

ア)EIM活動を支え、子どもの主体的な活動を推進し、子ども一人ひとりが楽しく学校生活を送れるようにします。

イ)「ひと・もの・こと」との豊かにかかわりを大切にする授業づくりを推進し、子どもの表現力を向上させます。

ウ)体力の向上を図るとともに、健康な心身をつくるための生活習慣が身に付くようにします。

エ)異学年交流や体験的な活動、感動体験を推進しながら、心豊かな子どもを育てます。

オ)地域・保護者・外部機関と連携・協力し、地域に愛着をもち、主体的に関わる子どもを育てます。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

| 重点取組分野 | 取組目標 | 具体的取組 |
|--------|--|--|
| 豊かな心 | ・様々なかかわり合いを通して、互いのよさを認め合い、励まし合い、互いに高め合うとともに、美しいものに感動する心情を大切にしながら、よりよい自分・友達・社会をつくる子どもを育む。 | ① 道徳教育の推進及び充実 指針1「道徳の時間」の充実 ② 子どもの思いや願いを大切にしたい子どもの主体性を生かした活動の場の保証 ③ なかよし活動(縦割り活動)の充実 指針2 体験学習の充実 ④ 歌声と心を響き合わせる活動の推進 指針3 豊かな感性や情操の育成 ⑤ 人権週間の取組の充実 ⑥ 豊かな心の育成プランの検証 |
| 担当 | 道徳部 ふれあい 教育部 | |

2 児童(生徒)の実態(「豊かな心の育成」にかかわる課題)

本校児童は、素直で落ち着いて学習に取り組んでいる。保護者は教育熱心で、地域の方も含めて学校に協力的である。一方、わが子に対する大きな期待があり、それに応えようと子どもは努力するが、思うような結果が出ないと感じた時、自己肯定感の低さにつながることもある。自分の気持ちを表現し伝えることが苦手なために、コミュニケーションが思うように図れず、トラブルになる場面もある。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 「道徳の時間」の充実 (必須項目) ※道徳教育全体計画・別葉と連動

・全学級の道徳授業公開を年一回以上実施する。

・道徳的価値について自ら考えるきっかけとなるよう教科書とともに副読本から学校の実態に即した人権とあいさつについての読み物資料を積極的に活用する。【視点1】

指針2 体験学習の充実

・縦割りの活動を充実させるとともに、全校仲よし遠足を立ち上げ、学級集団だけではなく異年齢同市野津ながりを築き、グループ内で互いを思いやる気持ちをもてるようにする。【視点3】

指針3 豊かな感性や情操の育成

・全校で今月の歌を歌う音楽朝会の機会を位置付けるとともに、心を響き合わせ一体感が味わえる場を大切にする。

・「朝読タイム」の設定やまめどサポーターズによるおはなし会、司書の読み聞かせによる読書活動を推進していく。【視点9】